

建築設計第一部 Architectural Design I

教員名	横田 隆司(よこた たかし)、飯田 匡(いいた ただす)、伊丹康二(いたみ こうじ)							
教員連絡先 (研究室所在地・TEL)	吹田キャンパス S1棟8階823室(横田)、825室(飯田)、812室(伊丹) 電話: 06-6879-7647(横田)、06-6879-7648(飯田)、06-6879-7649(伊丹)							
E-MAILアドレス	yokota@arch.eng.osaka-u.ac.jp、iida@arch.eng.osaka-u.ac.jp、itami@arch.eng.osaka-u.ac.jp							
履修対象	地球総合工学科 建築工学コース(2年次)							
単位	2	セメスター				3		
受講条件	特になし。							
授業の教育目的・目標 他科目との関連	初めての設計演習であることから、制約条件の少ない小規模な建築空間の設計を通して、製図技術の修得ならびに建築空間構成の理解と設計意図の表現手法の獲得を目指す。							
学習・教育目標	A	B	C	D	E	F	G	H
	○	○					○	◎
授業計画・概要	テーマ		概要					学習・教育目標
	建築製図の基本 (2回)		図面の役割と意義、建築製図の描き方、記号、表現方法等に関する基礎的知識を身につける。また、キャンパス内の建築物を見学し、構造形式、スケール、三次元立体としての建築と二次元で表現された建築図面の対応関係を理解する。 (包括2回)					A、H
	第1課題: RC造建築物の図面のコピーと骨組図・透視図の作成 (5回)		RC造建築物の図面に基づく骨組み図の作成、図面のコピーを通して、RC構造による柱梁の基本的な構成方法を身につける。(包括2回)また、図面からの寸法等の読取りおよび透視図の作成を通して、図面表現に関する基礎的知識を身につける。(包括3回)					A、B、G、H
	第2課題: 基本空間の設計とスタディ模型の作成 (3回)		基本空間について、現地調査、スケッチやスタディ模型の作成を繰り返し、平面と立面の両面から検討を進めることにより、設計方法の基礎および立体的な空間を図面化する能力を身につける。(包括3回)					A、B、H
	第3課題: オープンカフェのあるポケットパークの設計と模型の作成 (5回)		大阪市内の川沿いの敷地にオープンカフェのあるポケットパークを設計する。ヒューマンスケールを把握し、敷地周辺の環境条件や特徴、人の流れや動きを設計意図に取り込み、独創性あふれる空間を図面と模型により提案し表現する能力を身につける。(包括5回)					A、B、H
教科書	日本建築学会編: 第3版 コンパクト建築設計資料集成、丸善							
参考図書・文献等	柏原士郎編著: 建築デザインと環境計画、朝倉書店 柏原士郎・橋英三郎編著: 建築デザインと構造計画、朝倉書店 新日本建築家協会編: DA 医病院I 私立の診療所、彰国社 日本建築学会編: 建築設計資料集成[人間]、丸善 日本建築学会編: 建築設計資料集成[物品]、丸善							
成績評価方法・評価基準	A、G、Hについては、草案を含む提出図面および模型を評価する(70%)。Bについては、課題発表に対して評価する(30%)。なお、遅滞者の成績は60点以下とする。							
オフィスアワー	随時e-mailにて対応する。							
コメント	授業時間以外でも、課題について学生同士でお互いに意見交換を行い、課題を進めることを望む。							